

「やまなし新事業応援投資事業有限責任組合」による投資案件を紹介します
～真空業界において新たな製品開発に取り組む企業への投資～

「やまなし新事業応援投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」といいます。無限責任組合員：山梨中銀経営コンサルティング株式会社）は、VISTA株式会社（富士吉田市、代表取締役 大迫 信治）に対する投資を行いましたので、お知らせいたします。

なお、本投資は当ファンドの第4号案件となります。

1. 投資内容

- (1) 投資日 平成28年12月27日
- (2) 投資額 3千万円
- (3) 投資形態 第三者割当増資の引受

※事業内容や技術力、市場性の調査、及び面談による経営者の資質判断などから、成長可能性を総合的に判断し、投資を決定いたしました。

2. VISTA(株)の概要

- (1) 設立年月 平成14年9月
- (2) 資本金 2千5百万円（増資後）
- (3) 所在地 富士吉田市上吉田6丁目9番2号
- (4) 代表者 大迫 信治
- (5) 従業員数 7名
- (6) 事業内容 真空装置・真空関連機器製造

- 同社は、創業以来真空計測関連装置等の開発・製造を手掛け、半導体業界を中心に業務を展開している研究開発型の企業です。
- 研究開発型の企業であり、同社のフラッグシップ製品は、広範囲な真空領域に対応可能で、低価格、かつメンテナンスが容易なワイドレンジ真空計（「CC-10」）です。今般、この真空計測機能に加え残留気体の成分分析が可能な、世界唯一の分析器である「S-gauge（エス-ゲージ）」を開発し、販売を開始しました。また、他社と共同で年内の製品化を目指している「漏れ試験器」は、既存の製品と異なり、枯渇化が叫ばれているヘリウムガスを使用することなく漏れ試験を可能とするもので、新たな需要を喚起できる可能性を秘めた製品といえます。
- 当ファンドでは、今後の事業発展が期待でき、雇用の創造等を含め、県内経済の発展に寄与すると考えられることなどから、同社への投資を決定いたしました。
- 同社の第三者割当増資の全てを引き受けることで資金面での支援を行うとともに、今後は同社の成長発展に向けて「支援チーム（※）」との連携により積極的に各種支

援を行ってまいります。

※支援チーム：県内中小企業の経営革新支援を目的に、山梨県が設置した「中小企業サポート連携拠点会議」内に組成された創業・起業段階の支援に重点的に取り組むチーム

3. 当ファンドの内容

当ファンドは、山梨県、甲府・富士吉田両商工会議所と富士急行(株)、(株)山梨中央銀行及び山梨中銀経営コンサルティング(株)の県内民間企業3社の出資により設立された官民共同の投資ファンドです。

山梨県内に本社または事業所を有する企業を中心に、スタートアップ期やアーリーステージにある中小企業等に対する投資や育成を行うことにより、成長分野における創業や、成長分野への企業の参入を促進し、新産業の創出や雇用・県内総生産額の増加等による山梨県経済の活性化を図ることを主な目的としています。

当ファンドの管理・運営を行う無限責任組合員は、山梨中銀経営コンサルティング(株)が務めています。

- (1) 設 立 日 平成26年8月26日
- (2) 出資総額 3億1千9百万円
- (3) 投資金額 1回あたりの投資額は概ね5百万円から3千万円（1社あたりの累積投資額の上限は出資総額の10%）
- (4) 投資対象 「山梨県産業振興ビジョン」に掲げる5つの産業分野、11の産業領域を重点対象分野とし、主にスタートアップ期やアーリーステージにある山梨県内に本社または事業所を置く企業を中心といたします。

以 上